

〔医療・福祉の充実－ N － 4〕

応急手当が可能な人が、現場に駆けつけられる「救急支援スマートフォンアプリ MySOS」を活用した県民同士の救援依頼・共助システム
(和歌山県)

〔概要〕

救急車の要請から現場到着するまでの所要時間は、全国平均で約8.5分、和歌山県では7.7分です。救命率向上のためには、救急車が到着するまでに第一発見者（バイスタンダー）による速やかな応急手当が重要となります。

和歌山県ではスマートフォンアプリ「MySOS」を活用して、119番通報後、自分自身が救援を求める場合や、救援を求めている人を発見した時に、アプリから近くにいるあらかじめ事前登録をした人に救援依頼が出来る「救援依頼機能」を企画しました。

和歌山県では、県民への「MySOS」普及を進めるとともに、救援依頼機能を活用した県民同士の共助の仕組みを推進していきます。

<MySOSのTOP画面>



<MySOSの活用シーン>



〔コラム〕

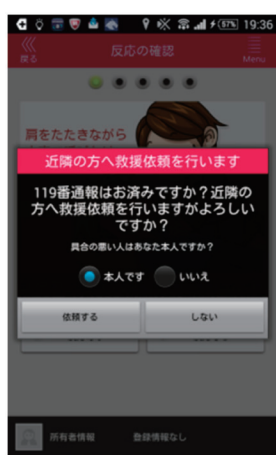
○背景

救急車が到着するまでの間、バイスタンダーによる迅速で適切な応急手当が重要です。特に心肺停止の場合は、CPR（心肺蘇生法）実施やAED利用が、救命率を大きく左右します。具体的には心停止から8分経過で救命率は10%以下になりますが、CPRとAEDの実施により救命率は約20%まで向上すると言われています。バイスタンダーによる応急手当の実施率を向上させるためには、応急手当の手順をいつでもどこでもガイドできる仕組みや、バイスタンダー自身が応急手当できない場合には、近くにいる人に救援要請し現場に駆けつけてもらう仕組みが必要でした。

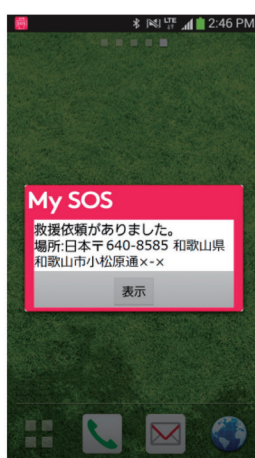
○事業詳細

「MySOS」における「救援依頼機能」では、119番通報後、「救援依頼」を発信し発信された「救援依頼」は、発信場所の近くにいるあらかじめ「SOSを受信する」と設定をした人のスマートフォンにのみ通知されます。SOS受信者は依頼の発信場所のほか、近隣の医療施設やAEDの設置場所を確認することが出来ます。なお、「MySOS」は全国で使用可能です。AndroidでもiOSでも無料でダウンロードが可能です。

<救援依頼（発信側）>



<救援依頼通知・場所確認（受信側）>



○今後の展開

共助の仕組みをより効果的にするためには、アプリ登録者の拡大が不可欠です。和歌山県では今後も継続的に普及啓発を行うことで、救援を求める人（救援を求める人を見つけ、救援依頼することも含む）および救援する人（医師、看護師、救急隊、消防隊、救命講習受講者等）に、アプリ登録者確保に努めていきます。

〔問い合わせ先〕

- ・和歌山県総務部危機管理局危機管理・消防課
- ・電話番号：073-441-2274
- ・e-mail：e0116001@pref.wakayama.lg.jp